

# 議会だより

2016.8.1

長生村議会

検索



心をひとつに 応援合戦（長生中学校体育祭より）

## 議会定例会 6月会議

主な内容

- 定例会で決まったこと ————— 2P～
- 一般質問(4名) ————— 4P～

発行：長生村議会 編集：議会だより編集特別委員会



村の木「ラカンマキ」



村の花「ハマヒルガオ」

# 議会定例会 6月会議

平成28年6月会議を、6月1日から2日までの2日間で開催しました。本会議では、報告4件、議案2件、請願2件、発議案3件が上程されました。一般質問では、4人の議員が村の施政を質しました。また、初日の6月1日に議長の辞職にともなう議長選挙、および、副議長選挙がおこなわれ、新たな正副議長を選出しました。

## 就任のごあいさつ



議長 阿井 市郎

このたびの議会定例会6月会議におきまして、議員各位のご推挙により、議長・副議長に就任いたしました。

身に余る光栄であり、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。



副議長 片岡 啓治

もとより微力ではありますが、公正かつ円滑な議会運営に努めるとともに、村政の発展と村民福祉の向上を目指し、誠心誠意努力してまいる所存でございます。

さて、村議会は二元代表制の一翼を担うことから、執行機関

と力を合わせ「夢がある、生きがいを感じる、住んで良かった」むらづくりの実現に向け努力してまいります。

また、議会情報の提供につきましては、議会報告会や議会だより、ホームページの充実によつて進めています。今後も開かれた議会を目指して更なる情報発信に努めてまいります。村民の皆様のご多幸を心からご祈念申し上げますとともに、議会に對しまして一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。して就任の挨拶いたします。



## 奨学金等貸付条例を可決

経済的理由により就学が困難な方に対し、修学上必要な学資の貸し付けをおこなうことと併せ、若年層の定住促進をはかるため、条件付きで返還が全部または一部免除される給付型の奨学金制度を設けることにより、広く人材を育成することを目的とする条例案を可決しました。

貸付金額などについては別表のとおりです。

育英修学金の返還免除の条件は次の①②両方を満たす方になります。

①卒業した月の翌月初日から起算して6カ月以内に村内に居所を移すこと。

②村内に居所を移した日から貸付期間の2倍の期間（4年生大学なら8年間）村内に住み続けること。

施行日は、平成29年4月1日です。



種類 区分	奨学金（貸付型）		育英修学金 （条件付き給付型）
	修学費	入学支度費	
高等学校等	月額 1万5千円	入学時 10万円	月額 2万円
大学等	月額 5万円	入学時 30万円	



# 一般会計補正予算を可決

既定の予算に歳入歳出それぞれ3833万9千円を追加し、予算総額5億9233万9千円とする補正予算を可決しました。

## 主な歳入

### ◎県補助金

県からの補助金で、新「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業補助金など。

2494万4千円

### ◎繰越金

前年度繰越金。

1109万5千円

### ◎雑入

コミュニティ助成事業補助金。

230万円

## 主な歳出

### ◎総務費

コミュニティ施設整備事業 自治会集会所建設等補助金（金田自治会館地盤沈下対策など）、コミュニティ助成事業補助金（入山津子ども御輿への助成）。

327万4千円

### ◎農林水産業費

農業振興事務運営費



傾いた金田自治会館

新「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業補助金（産地生産力強化のための助成金）、経営体育成支援事業補助金（5つの経営体に助成する）。

3366万5千円

### ◎消防費

防災対策事務運営費 コミュニティ助成事業補助金（入山津自主防災組織への助成）。

80万円

## 請願・意見書

6月会議に提出された請願2件を採択しました。

### 請願第1号

「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願

◎請願者 子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会

◎請願内容 「義務教育費国庫負担制度の堅持を要望する意見書」の提出を求めたものです。

◎紹介議員 片岡 啓治 矢部 眞男

◎請願第2号 「国における平成29年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願

◎請願者 請願第1号提出者に同じ。

◎請願内容 子どもたちの健全育成、教育環境の充実をはかるため「教育予算拡充に関する意見書」の提出を求めたものです。

◎紹介議員 片岡 啓治 矢部 眞男

◎請願第1号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願

◎請願者 子どもたちの健全育成、教育環境の充実をはかるため「教育予算拡充に関する意見書」の提出を求めたものです。

◎紹介議員 片岡 啓治 矢部 眞男

◎請願第2号 「国における平成29年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願

◎請願者 子どもたちの健全育成、教育環境の充実をはかるため「教育予算拡充に関する意見書」の提出を求めたものです。

◎紹介議員 片岡 啓治 矢部 眞男

## 東間前議長 自治功労賞を受賞



去る5月27日、千葉県町村議会議長会定例会において、栄誉ある自治功労賞を東間永次前議長が受賞されました。誠にめでとうございます。今後とも、益々のご活躍をご祈念申し上げます。

## 審議結果一覧表

議案番号	件名	審議結果	
報告第2号	専決処分した事件の報告について (地方税法改正にともなう税条例の改正)	/	
報告第3号	専決処分した事件の報告について (地方税法改正にともなう固定資産評価審査委員会条例の改正)		
報告第4号	繰越明許費の繰越しについて (津波避難道路整備事業など7件の事業を前年度から繰越するものです「継続事業」)		
報告第5号	繰越明許費の繰越しについて (下水道管渠建設事業などを前年度から繰越するものです「継続事業」)		
議案第30号	長生村奨学金等貸付条例制定について		
議案第31号	平成28年度長生村一般会計補正予算(第1号)	原案可決	全員一致
請願第1号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	採択	全員一致
請願第2号	「国における平成29年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	採択	全員一致
発議案第2号	長生村議会だより編集特別委員会設置に関する決議について	原案可決	全員一致
発議案第3号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について	原案可決	全員一致
発議案第4号	国における平成29年度教育予算拡充に関する意見書の提出について	原案可決	全員一致

# 熊本地震を踏まえた災害 対策の見直しを!!

井下田 政美 議員

## 千葉県地域災害情報 システムを導入

議員

被災者支援システムの、その後の取組みについて伺います。

村長

昨年11月「千葉県地域災害情報システム」を導入しました。

議員

罹災証明書などのスムーズな発行は、平時からの備えが欠かせません。運用できる村職員は何名ですか。

総務課長

現在、運用できる職員は2名です。  
毎年、県主催の研修会が

## 業務継続計画(BCP) 28年度中に策定

議員

業務継続計画(BCP)策定について伺います。

村長

業務継続計画(BCP)は、災害時において中断できない、または中断しても早期復旧を要する業務の対応方針を定める計画であります。

本村においては、現在策定中であり、第1四半期には策定を完了します。

おこなわれていますので、今後は、多くの職員を参加させ対応してまいりたいと思います。

議員

役場本庁舎のバックアップ体制について、お尋ねします。

総務課長

データのバックアップ体制については、住民基本台帳など重要な行政データは、委託業者の社内にあるサーバーへバックアップをおこない、データの確保に努めております。

議員

水道管耐震化対策について、村内管路の総延長と、耐震化率はわかりますか。

総務課長

水道管総延長は195kmで、耐震化率は約3割です。

議員

耐震化対策と、取組み状況を伺います。

総務課長

広域市町村圏組合へ確認したところ、配水管の老朽管更新事業の取り組みとともに、耐震性能の高い管への敷設替えをおこなっています。

今後、耐震化診断をおこない、耐震化工事を計画しています。

議員

大規模災害発災時、家屋の解体撤去にもなつて発生する震災廃棄物の一時保管場所が必要となりますが、一時保管場所はどこを考えていますか。

総務課長

村では、震災廃棄物の一時保管場所は特定していません。  
衛生面などを考慮し、住家からなるべく離れた村有地や民有地借り入れを想定しています。

## 長生村版子育て支援 アプリの実施を

議員

世田谷区では子育て応援アプリを構築し、スマートフォンにより妊娠期から小学校就学前の子育て世帯の多くの保護者が活用しています。

村において、アプリの導入についての見解をお聞かせください。

健康推進課長

世田谷区の取り組みについては、効果的であると考えています。

現在村は、子育て世代包括支援センターの設置を検討しています。

これらの体制が整えば、応援アプリについても検討したいと考えます。

議員

山形県新庄市は、LINE(ライン)を使った子育て支援事業をスタートしています。

その際、是非LINEの検討もしていただければと思いますが、再度見解を伺います。

健康推進課長

子育て世代包括支援センター設置の際、併せて検討してまいりたいと考えます。

## その他

「公職選挙法改正にともなう投票率向上の取り組みについて」と「引きこもりの現状と社会復帰に対する取り組みについて」の質問がありました。

# 子供たちに 最善の教育環境を！

山口 裕之 議員

## 認定こども園について

議員

八積駅を中心としたコンパクトシティ化の一環として、村は「認定こども園」を位置づけています。

しかし、その規模や幼稚園と保育所の各機能などはまだ提示されていません。

「認定こども園」とする理由は何か、また、村内の3保育所を1カ所に集約しようとする根拠は何か伺います。

村長

平成24年に子ども・子育て関連3法が制定され、平成27年4月から施行することになり、質の高い幼児期の学校教育と保育の総合的な提供に取り組み、認定こ

ども園の普及をはかることとされました。

就学前、小学生児童の保護者へのアンケート調査では「認定こども園を利用したい」との回答が50・1%であり、また、子ども・子育て会議で協議を6回、視察を2回実施し、検討を重ねた結果、既存の保育所施設の老朽化対策も含め、認定こども園への移行に向けて役場庁内での検討をするようにとの意見をいただきました。

議員

教育方針、内容、運営方法などは協議されたのか。

健康推進課長

認定こども園への移行は現在検討中です。

教育方針などの具体的内容は検討していませんが、

住民の意見を聞きながら検討してまいります。

## 学校給食のセンター方式について

議員

学校給食について、自校方式をセンター方式へ選択した村の考えを伺います。

村長

現施設の老朽化が著しく、衛生管理の問題が多く指摘されていることから、集約化について、総合計画後期基本計画の中で計画したところです。

議員

学校給食法で定める学校給食には、義務教育諸学校における教育の目的を実現するために、7つの目標の達成に努めなければならぬとあるが、学校給食も子どもたちの成長のための教育の一環と捉えているのか伺います。

教育長

学校給食は児童および生徒の心身の健全な発展に資

するものであり、かつ児童および生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たしています。

また、給食の準備、後片付けの勤労体験や感謝の念を培う指導なども期待できるものであり、教育の一環と考えています。

議員

認定こども園も、学校給食のセンター方式もまた、スタート地点であり、住民も議会も判断できない状況であり、これからの方向性をどのように考えているのか。

企画財政課長

現在、計画の作業を進めている八積駅の周辺まちづくり基本計画の策定と併せ、地方創生加速化交付金を活用し、国交省所管の社会資本整備総合交付金などを活用するための都市再生整備計画の策定に向け、必要な調査分析などの業務を実施していくところです。

計画の素案について、12月頃までに議会の皆様にお示しをし、その後、住民説明会を開催し、多様な意見

をお聞きして、計画を策定したいと考えています。

議員

学校給食のセンター方式は決定事項なのか。

村長

公約に掲げましたが、全くの白紙です。

## 子ども議会の開催は？

議員

未来を担うこども達に、行政の仕組みや村政に対するの興味や関心を持たせるきっかけとして、また、若い世代の政治参加と、意識の底上げの可能性を秘めた取り組みとして、こども議会の導入が必要と思えますが、村の考えを伺います。

教育長

昨年、村長と全課長が中学校に向きまして全生徒と意見交換をしてみました。したが、ご指摘のとおり、近いうちにそういう方向でも検討していきたいと考えています。

# 就学援助金の充実を求める

鈴木 征男 議員

## 入学準備金の年度内支給は要綱改正で可能

議員

修学援助制度は憲法26条の「教育を受ける権利」義務教育は無償とする」を具体化したものです。

昨年政府が発表した最新数値（2012年）では、子どもの貧困率は16.3%と約6人に1人となっており年々増加しています。

親の失業や低収入、病気、離婚、死別など家庭の経済状況の悪化でもたらされる子どもの貧困は深刻になっています。

子どもが中学校に入学する場合、制服代など家計の負担が10万円以上かかります。生活が大変で就学援助金

を利用しているのに、入学準備金は入学して数ヶ月たないと支給されないのが現状です。

改善を求めます。村の考えを伺います。

教育長

入学時には多額のお金がかかりますので、今後早い段階で支給できるように要綱の改正について検討します。

議員

要綱を改正すれば、例えば3月とか年度内支給が可能でしょうか。

学校教育課長

要綱を改正すれば、年度内の支給は可能と考えています。

議員  
年度内支給ができることを確認しました。

## 入学準備金の引き上げ前向きに検討

議員

入学準備金の改善についてお聞きします。

現在の支給額は、中学生でみると2万3550円です。

中学校入学時の実際の支出額は10万円前後です。

家計支出と村の支給額が大きく乖離しています。

村として準要保護世帯への支給額の引き上げを考えているのかお聞きします。

学校教育課長

支給額の引き上げについては、生活保護費とのバランスをはかりながら前向きに検討したいと考えています。



## 労働条件の改善と公契約

議員

公契約条例でもっとも重要な「要件」は賃金の下限設定です。

これは建設労働者などの労働条件の改善につながります。

平成26年3月会議で村は、公契約条例の必要性について調査・研究しますと答弁しています。その結果を伺います。

村長

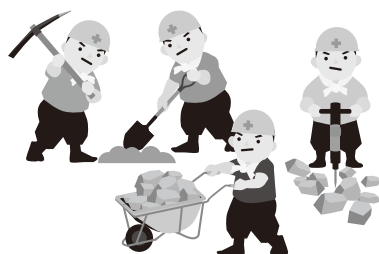
現時点では導入にいたっていません。

議員

村の設計労務単価の引き上げについて数字でお聞きします。

総務課長

普通作業員の労務単価は、平成25年度1万6400円、平成26年度1万7300円、平成27年度1万8100円です。



議員  
この3年間で約10%上がったことになりました。公共事業の発注で労務単価を引き上げても「賃金に反映していない、賃金上がらないよ」との声を聞きます。

今年3月、国会の予算委員会でもこのことが取り上げられました。

政府は「賃金上昇が下請けを含めて現場の労働者に行き渡ることが非常に重要。建設業界に対して要請をおこないたい」というふうに答弁しています。

この様な動向について、村として情報収集・研究をして下さい。

総務課長

今後、調査・研究してまいります。



# 駅周辺整備は未定、 そのものの見直しを

関 克也 議員

議員

八積駅北側周辺整備事業については、村民の意向は反対です。

なぜ、総合計画後期5カ年計画で実施する方針に転換したのか。  
理由と村の見解を伺います。

村長

後期基本計画と前期基本計画の間に方針の大きな変更・転換はありません。  
歩いていける距離で生活

のできるコンパクトなまちづくりを進めることが必要であるためです。

今後、住民の多様な意見を聞きながら、進め方を検討します。

駅の整備の必要性も検討します。

議員

都市計画道路（東部台・城之内線）は、県の「地震による液状化しやすさマップ」によれば、液状化しやすい水口<sup>みづぐち</sup>地域を通る計画であり、大幅な見直しか中止すべきではないか。

村長

今後、住民の多様な意見を聞きながら、その必要性を含め、検討していきます。

議員

そもそも約44億円「駅周辺整備、認定こども園、都市計画道路、学校給食センター、中央コミュニティセンター」の計画は、駅北側周辺まちづくり基本計画の見直しであると考えられるが、計画は未定、つまり国の補助事業として申請でき

きるかどうか、まだ未定であるということか。

企画財政課長

そのとおりです。



現在の八積駅前

## 公立保育所建設補助 金復活を求め、国県 に陳情したい

議員

村の認定子ども園計画において、マンモス保育園（定員300人程度）の場合にどんな弊害があるか、村として検討がされていますか。

村内の教育関係者の方からは「巨大保育園になると、子どもと保育士の関係が希薄になる。両親のことや子どもの特徴などがわかれば、声をかけたり、ケガの処置などがすぐできる。小規模なら親子のこともわかり、きめの細かい指導ができる。」「子どもと接する人々の信頼関係があると、日々の生活がより楽しくなる。」「子どもにとって最初の集団生活をする場が保育園。人にとって一番大切な心の成長の場（今の保育所）を守ってほしい。」と意見が寄せられています。

保育所を統合することについて、村民の意向を確認するアンケート実施が必要ではないかと思いますが、村の見解を伺います。

健康推進課長

様々な総合計画などで今後検討していくことで、ご理解いただきたい。

議員

今、全国で認可保育園が足りない原因は、国が保育の負担金を一般財源化の名でなくしてしまっただけからです。

この10年間で公立保育所が2500カ所も減少してしまいました。

保育園が足りない問題を解決するには、市町村が公立保育所建設を進められるように、公立保育所建設の国庫補助制度を復活する必要があります。

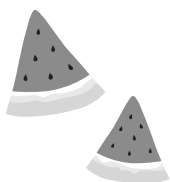
村では結局、公共施設の集約化（コンパクト化）による効率化のもとでしか、村立子ども園建設に補助金が出ないことが、3保育所統合方針の原因となっております。

公立保育所の建設（増築・立て替え）に国の補助制度を作るよう、郡町村会で国に要求するべきではないか。

村長

当然、公立保育所補助金が可能であれば、それを使っていく方向になるうかとも思います。

今後、郡内の町村会で力を合わせて陳情に行きたい。



## 議長・議員が出席または参加予定の主な行事

9月	8月	7月	6月	5月
16日 議会定例会9月会議(予定)	28日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会 老人クラブ連合会芸能大会	30日 一宮川地区湛水防除施設管理運営協議会総会	28日 長生中学校体育祭	25日 議会運営委員会
15日 議会定例会9月会議(予定)	26日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	28日 身体障がい者福祉社会員研修会	27日 千葉県町村議会議長会定例会及び政務研究会	26日 長生村商工会通常総会
14日 議会定例会9月会議(予定)	21日 議会だより編集特別委員会	27日 長生郡町村議会議長会臨時会	26日 長生村商工会通常総会	25日 長生村商工会通常総会
13日 盆踊り大会	15日 海開き式典	27日 夏季観光安全対策会議	25日 長生村剣道大会	24日 長生村商工会通常総会
12日 盆踊り大会	14日 長生郡市広域市町村圏組合議会行政視察	26日 長生支部消防操法大会	24日 議会定例会6月会議	23日 長生村商工会通常総会
11日 九十九里地域水道企業団理事会	13日 一宮地区防犯組合連合会総会	25日 長生村剣道大会	22日 議会だより編集特別委員会	22日 長生村商工会通常総会
10日 長生郡市広域市町村圏組合議会	12日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	24日 長生支部消防操法大会	21日 第六支団消防操法大会	21日 長生村商工会通常総会
9日 議会定例会9月会議(予定)	11日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	23日 長生支部消防操法大会	20日 青少年育成会総会	20日 長生村商工会通常総会
8日 議会定例会9月会議(予定)	10日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	22日 長生支部消防操法大会	19日 議会だより編集特別委員会	19日 長生村商工会通常総会
7日 議会定例会9月会議(予定)	9日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	21日 長生支部消防操法大会	18日 議会だより編集特別委員会	18日 長生村商工会通常総会
6日 議会定例会9月会議(予定)	8日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	20日 長生支部消防操法大会	17日 議会だより編集特別委員会	17日 長生村商工会通常総会
5日 議会定例会9月会議(予定)	7日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	19日 長生支部消防操法大会	16日 議会だより編集特別委員会	16日 長生村商工会通常総会
4日 議会定例会9月会議(予定)	6日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	18日 長生支部消防操法大会	15日 議会だより編集特別委員会	15日 長生村商工会通常総会
3日 議会定例会9月会議(予定)	5日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	17日 長生支部消防操法大会	14日 議会だより編集特別委員会	14日 長生村商工会通常総会
2日 議会定例会9月会議(予定)	4日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	16日 長生支部消防操法大会	13日 議会だより編集特別委員会	13日 長生村商工会通常総会
1日 議会定例会9月会議(予定)	3日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	15日 長生支部消防操法大会	12日 議会だより編集特別委員会	12日 長生村商工会通常総会
	2日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	14日 長生支部消防操法大会	11日 議会だより編集特別委員会	11日 長生村商工会通常総会
	1日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	13日 長生支部消防操法大会	10日 議会だより編集特別委員会	10日 長生村商工会通常総会

### 皆さんも議会を傍聴しませんか!!

議会は、村民の皆さんの声を村政に反映させる場です。審議がどのように行われているのか、傍聴しませんか。傍聴席は先着順で32席です。当日、役場の3階傍聴席入り口で、氏名等を記入していただきます。次の「議会定例会9月会議」は9月14日(水)から開催の予定です。



議会だよりに対する  
ご意見ご感想を  
お寄せください。  
お問い合わせは下記まで。



長生村議会事務局  
直通:32-4744 FAX:32-1177

### 編集後記

去る6月、華々しく舌戦を繰り広げた選挙戦にも終止符が打たれ、現職の小高村長が続投することになりました。地方自治の一翼を担う議会の役割はより一層高まったものと感じます。

二元代表制の御旗を掲げ、村長率いる執行部と議長の主催する議会とが「切磋琢磨」することにより村民の多様な要望に応えなければならぬという使命感を改めて感じます。

編集委員一同は「読みたくなる議会だより」を目指して、議会活動をより深く身近に感じ取ってもらい、楽しんで読んでいただける広報誌にしたいと思っております。

1年間ご愛読よろしくお願ひします。  
(編集委員長)



### 新しい議会だより編集委員

写真左側手前から  
石川委員・増子委員・東間委員  
鈴木副委員長・門口委員長・阿井議長  
関委員・山口委員・立川委員